

平成十年十二月十四日提出  
質 問 第 八 号

厚生年金及び国民年金の財政見通しに関する質問主意書

提出者 金 田 誠 一

厚生年金及び国民年金の財政見通しに関する質問主意書

去る十二月十日、民主党年金制度改革小委員会において厚生省から「厚生年金の財政見通し（第一案）」

「同（第二案）」「国民年金の財政見通し（第一案・第二案）」と題する資料が提示されたが、これに関連して次のとおり質問する。

一 各財政見通しの年度区分については、西暦二〇〇〇年から一〇年間隔（一部五年間隔）となっているが、

（一） 間隔を空けずに推計した資料は存在するか。また、その提出はできるか。

（二） 以上について存在しないとすれば、今後作成の見通しはどうか。

二 各財政見通しの支出合計について

（一） その内訳はどのようなになっているのか。年度別に、基礎年金拠出金、老齢厚生年金（老齢相当、通老相当）、障害厚生年金、遺族厚生年金、福祉施設費に区分して金額を明らかにされたい。

（二） 前（一）の区分毎に、受給者数を明らかにされたい。

三 各財政見通しの年度末積立金については、「十一年度価格」になっているが、

(一) この数値のみ十一年度価格になっている理由は何か。

(二) 他の数値と同じレベルで推計した場合は、各数値はどうなるのか。

四 現在の積立金について

(一) 直近における積立金の総額は、厚生年金および国民年金それぞれどのようなになっているか。

(二) 前(一)の積立金の運用内訳はどのようなになっているのか。運用先毎の金額、利回りを明らかに  
させたい。

右質問する。